

II 暮らしの向上

4 少子化対策・女性の活躍促進

主担当部局(長)名
こども・女性局長 福西 清美

目指す姿

安心して子どもを生み育てやすい環境づくりを推進し、次世代を担う子どもの健やかな育ちを実現させます。また、女性の持つ意欲や能力等が活かされることで男女がともに支える暮らしやすい奈良県、多様性と活力に富んだ奈良県をつくります。

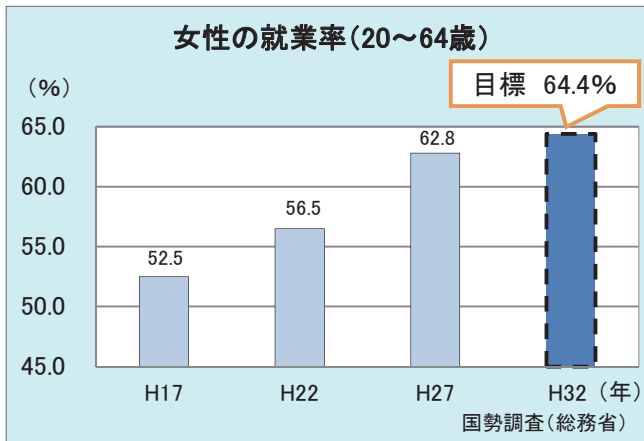


女性を対象とした起業家養成セミナー

これまでの成果

- ・安心こども基金等を活用した保育所や認定こども園等の新設・増改築の支援に取り組み、平成23年度からの6年間に於いて2,333名(H28年度は523名)の定員増となりました。
- ・児童虐待防止のための県、市町村、関係機関等の具体的な行動計画を定めた奈良県児童虐待防止アクションプランに基づき、各種取組を実施し、その結果を公表しました。また、同プランの改定を行いました。(H29年3月)
- ・起業する人材への支援策として、女性を対象とした起業家養成セミナーを開催し、平成28年度は受講者数が延べ299人となりました。

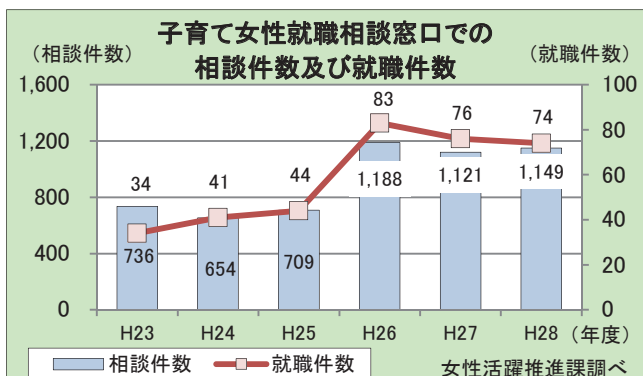
1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	平成32年中に、女性の就業率(20～64歳)の全国平均を目指します。(H22年:奈良県56.5%、全国平均64.4%)
取組	平成23年6月に開設した「子育て女性就職相談窓口」に、奈良労働局との連携により平成26年3月から「ハローワーク就職相談窓口」を併設するなど、機能の充実を図り、女性の就労を支援しました。
成果	女性の就業率(20～64歳)は依然全国最下位であるものの、各種就業支援制度の効果により、子育て世代である30代後半の女性の就業率が向上するなど、全体では平成22年の56.5%から6.3ポイント上昇し、平成27年は62.8%になりました。

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	<p>①平成31年度までに、子育てに心理的・精神的な不安・負担を強く感じている母親の割合を10.0%以下にします。(H25年度:13.3%)</p> <p>②奈良県児童虐待防止アクションプランを実行することで、平成31年度までに、増加を続ける県の児童虐待相談対応件数を減少に転じさせます。(H27年度:1,555件)</p> <p>③平成32年中に、全国平均と比べて落ち込みが大きい、子育て世代である35歳から39歳の女性の就業率の全国平均を目指します。(H22年:奈良県56.2%、全国平均64.2%)</p>
------	--



取組	平成23年6月から奈良労働会館内に「子育て女性就職相談窓口」を設置し、また平成26年3月から奈良労働局との連携によるハローワーク職業相談窓口を相談窓口内に併設して、就職相談から職業紹介までのワンストップサービスを実施するなど、子育て女性の就労支援を推進しました。(①)
成果	平成28年度は1,149件の相談があり、74人の就職が決定しました。開設以来の相談件数は5,557件、就職件数は352件となっています。